

令和2年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視 点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)		
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等	
1 教育課程 学習指導	<p>①学校のミッション、生徒の実態、教育ニーズに即した新たな魅力と特色づくりを推進する。</p> <p>②インクルーシブ教育実践推進校としての取組を推進する。</p> <p>③これからの時代に必要な資質・能力を育成するため、主体的な学習の向上、探究的な学習の推進、グローバル化・IT化への対応を見据えた取組を行っていく。</p>	<p>①新学習指導要領に対応した教育課程を編成する。</p> <p>②中高連携事業を通しインクルーシブな学校づくりを一層推進する。</p> <p>③ICTを活用した授業の充実を図る。クラウド活用を積極的に推進する。</p>	<p>①生徒のキャリアニーズや探究的な学習の習得に向けた適切な時間割作成を行う。</p> <p>①臨時休業中の学習について年間指導計画の見直しを行い課題について目標・評価規準を提示する。</p> <p>②連携生を対象とした学校設定科目の内容の精選と指導と評価方法の充実を進める。</p> <p>③臨時休業中の課題設定を活かし教職員、生徒のICTを活用した学習の推進を図る。</p> <p>③資格・検定試験の充実を図る。</p>	<p>①新学習指導要領の精神と学校教育目標をふまえているか。</p> <p>②臨時休業中の課題の提示と提出が計画的に行われたか。</p> <p>③学校設定科目の内容と個別教育計画に基づいた教育実践ができたか。</p> <p>③臨時休業中のICT活用による課題や取組の実践率や活用実績。</p> <p>③資格・検定試験の受験率や合格率</p>						
2 (幼児・ 児童・) 生徒指 導・支援	<p>①自らの夢や目標に向かってチャレンジしながら未来を切り拓いていく力を育成するとともに誰もが霧高生であることにプライドが持てる活気ある学校づくりを行っていく。</p> <p>②多様性を受け入れ、他者を認め合い、支え合いながら主体的に課題を解決する力を育成するとともに、「インクルーシブな学校」づくりを行っていく。</p> <p>③規律と秩序のある生徒指導ときめ細かい支援体制を確立する。</p>	<p>①生徒のキャリア形成のため行事、委員会、部の活動を通して、主体的で課題解決能力を向上させるようなチャレンジ精神を育む。</p> <p>②障がいの有無にかかわらず、生徒が相互理解を深める中で、互いの良さや多様性を認め、協働する力を育む。</p> <p>③基本的生活習慣の確立と日常における規範意識を柱にした、組織的な生徒指導の中を実践していく。また、生徒一人ひとりへのきめ細かな支援体制を確立する。</p>	<p>①生徒会規定を整備し、各活動に集中して取組める環境を整える。生徒のチャレンジするあらゆる機会を増やし、生徒のアイデアを引き出しながらその活動を支援する。</p> <p>②インクルーシブ教育に係る講演を、年間4回以上開催し、障がいへの理解を深め解決に向けて考え実践する機会とする。</p> <p>③遅刻・服装・頭髪・集団生活での規律指導に継続的かつ重点的に実施する。また、ケース会議の充実と外部機関との連携をし、生徒一人ひとりに対応した支援・教育体制を充実させる。</p>	<p>①行事満足度80%以上、部活動加入率65%以上と生徒の取組がHP等での情報発信が充実したか。</p> <p>②講演会等を、通し、障がいに対する理解を深め解決に向けて考え実践する機会を設けることができたか。</p> <p>③公共心が育ち、バス乗車マナーや自転車通学のマナーの向上が見られたか。面談、SCの活用、ケース会議など効果的な支援を組織的に実施できたか。</p>						

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)		
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等	
3 進路指導・支援	<p>①職業的・社会的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育成し、自らの力で生き方を選択し、自己の未来を切り拓いていく力を育てる。</p> <p>②生徒一人ひとりが自らの意思によって将来の進路を選択し、自己実現を果たしていくための能力の育成に向けた指導・支援を行うとともに、生徒のあらゆる進路ニーズに対応したキャリア支援教育(進路指導)体制を構築する。</p>	<p>①社会の課題と自己の生き方とを意識したキャリア教育を推進し、職業的・社会的自立に必要な力を育成する。</p> <p>②進路実現の達成のため学習計画や進路目標を明確にした計画的な学習や課題に対する探究的な取組を支援する。</p> <p>③高大接続改革等に関する情報を収集し、発信する。</p>	<p>①探究的な学習の時間を活用し各授業で課題解決と表現能力の育成を図る。</p> <p>②キャリアマネジメントの構成のため生徒のポートフォリオの積み重ねを指導する。また説明会や文書等で情報提供する。</p> <p>③新調査書、新テスト等高大接続改革に係る情報を収集し、生徒・職員に発信する。</p>	<p>①探究的な取組が授業や各活動で実践できたか</p> <p>②3年生での進路活動でその成果が活かされたか。</p> <p>③新調査書、新テスト等高大接続改革に係る情報が生徒、職員、保護者に適切に伝わったか</p> <p>④連携生徒が地域との連携により適切に進路指導が実現できたか。</p>						
4 地域等との協働	<p>①保護者や地域社会に対し、本校の教育活動についての理解を深め、もたらうための積極的な情報発信と学校PRを行っていく。</p> <p>②地域との交流や協働、地域貢献等を通じ、地域に開かれ、地域と共にある学校づくりに取り組む。</p>	<p>①社会に開かれた学校として学校説明会や行事等を通して積極的な情報発信を進めていく。</p> <p>②地域や保護者との連携・協働の場を拡充し、生徒が社会と関わる力をさらに伸長する。</p>	<p>①霧コンシェルジュや部活動生徒を中心に生徒主体の学校説明会を進めていく。</p> <p>②HPの更新を随時行い、内容を充実させる。</p> <p>③キャリアマネジメントの視点から地域と繋がる機会を提供する。</p> <p>④地域の特別支援学校との連携や地域住民との教育活動の協働を図る。</p>	<p>①中学生、保護者向けアンケート満足度9割を超えるか。</p> <p>②地域と連携したイベント等を通じ、地域との交流を深めることができたか</p> <p>③地域の特別支援学校と連携に係る交流が持てたか。地域住民にボランティア参加が得られたか。</p>						
5 学校管理 学校運営	<p>①保護者から信頼され、地域から愛される安心・安全な学校づくりを行う。</p> <p>②防災意識を高めるための防災教育を地域や保護者と連携しながら組織的に行っていく。</p> <p>③教職員が生き生きと教育活動に取り組むことができるための「働き方改革」をさらに推進していく。</p>	<p>①学校教育活動の情報発信に努め、事故・不祥事の防止により信頼される学校経営を目標とする。</p> <p>②災害に対して、生徒の防災意識を高め、教員の組織的防災体制を確立する。</p> <p>③風通しのよい職場環境を構築し、外部機関との連携やシステムの効率化を図る。</p>	<p>①より充実した情報発信により学校教育活動の「見える化」を推進する。</p> <p>②校内防災組織の見直しを行い、防災訓練にて実践的な動きの確認を行う。それに伴い、防災関連の倉庫や備品の整備を行う。</p> <p>③衛生委員会や学校運営協議会を通じた意見収集の改善を図る。</p>	<p>①学校HPの情報閲覧数や学校運営協議会での委員の評価</p> <p>②防災訓練でのアンケート結果から防災意識の充実度</p> <p>③防災に係る地域との連携や備品の整備状況</p> <p>④衛生委員会の開催回数や内容の改善に向けた取組内容</p>						